

コード	202010401
記入日	H24.6.8

課コード	119
課名	建築課
課長名	法村 栄三
担当者	松岡 貢

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	街なみ環境整備事業
----------	-----------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	202	施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備	項コード	6
基本事業コード	20201	基本事業名称	快適な住宅・住環境の整備	目コード	2
事務事業コード	2020104	事務事業名称	国庫補助事業費（住宅）	細目コード	628
関連計画		法令・条例規則等	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 船崎地区住民 (対象2)		(対象指標1) 170人口H24.3.31現在) (対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・通路の新設（1路線）153m ・通路の美化（5路線）342m ・小公園の整備（2箇所）359㎡ ・緑地整備（1箇所）2,560㎡ ・交流センター1棟 ・交流センター（造成）2,450㎡ ・街なみ整備助成10戸	(平成23年度) →通路の美化化 L=57.5m →小公園（ポケットパーク）整備 1箇所 →住宅等修景助成 4棟 →バス停修景 1棟 ・事業費5,922千円は平成24年度へ繰越し	① 全体事業進捗率	87.4%	87.4%	累積事業費÷ 全体事業費	平成25年度
		当該年度事業進捗率	100%	64.6%		平成23年度
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・船崎地区は、遣唐使の時代、中国からうどん製法が最初に伝えられた地と言われ、現在も昔ながらの製法を守って手延べうどんが作られている。我が国のうどん発祥の地であるこの集落は、まさに生きた歴史資源とも言える。しかしながら、離島の小集落であることから、近年の少子高齢化と過疎化の進捗は著しく、村の存亡も危惧されるところである。また、集落内を縦横する幅1~2mの通路は狭隘・粗悪で、高齢者等の通行の安全に支障をきたす状況が続いている。 ・整備方針では、通路は自然素材を用いた透水性景観舗装とし、従来から存する石積みを残し、地域住民の憩い・ふれあいの場を確保して、次世代を見越した居住環境の向上を図ることを目的としている。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 交流センター利用者数（年間）	1,500人	-	年間利用者数÷ 目標利用者数	平成25年度
② 交流センター利用者数（年間）	1,974人	131.6%	平成23年度			
		① (達成率分析)	全体事業が未完了のため、当該年度利用者数は参考数値とし、事後評価にて達成率を算出する。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① %	100	87.4	83.7	5.7	3.7	4.8	5.8			
	②										
成果指標	① 人	1,500	-	1,972	1,500	1,974	1,500	1,500			
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	292,923	255,899	245,115	16,706	10,784	14,102	17,000			
直接事業費 A	千円	222,923	199,899	196,115	9,706	3,784	7,102	10,000			
人件費 B	千円	70,000	56,000	49,000	7,000	7,000	7,000	7,000			
内訳	従事職員数	人	10.0	8.0	7.0	1.0	1.0	1.0			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	109,611	98,226	97,098	3,962	1,128	3,551	5,000		
	県補助金	千円									
	起債	千円	106,200	95,300	92,800	5,400	2,500	3,300	4,700		
	その他	千円									
一般財源	千円	77,112	62,373	55,217	7,344	7,156	7,251	7,300			

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	素朴な集落全体の景観を残しながら、次世代の人が住みたくするような住環境の整備が必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	通路新設・美装化、小公園整備、住宅修景等は集落内の住環境の向上につながり、また、交流センター建設は住民コミュニティの場のほか、昔からの製法を守る船崎うどんの伝承・継承の場づくりともなって、地域活性化の上で本事業のもたらす成果は大きい。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	交流センターの建設により、地区公民館活動の拠点として、また、うどん伝承部門は昔ながらの伝統製法の伝承の場、後継者育成の場として活用されている。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	交流センターでの公民館活動及びうどん伝承部門の見学、うどんづくり体験等による利用者数は期待以上である。また、通路、小公園の整備等により、安全で快適な住環境の向上が図られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	町財政状況も勘案して整備計画の一部を見直し、必要最小限の経費で最大の効果が発揮できるよう努めており、他の手法には変えられない。

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	通路、小公園については、地元協議を踏まえながら必要性を再検討し、整備箇所を減らす見直しによって事業費の縮減を図った。
	今後、課題に向けた改善策	平成25年度が事業の最終年度にあたり、初期の整備方針を見直し、事業の最大の効果を発揮すべく検証を重ねつつ、取り組んでいく。

2次評価	本事業は、集落全体の景観の保全や集落内の住環境の向上、そして地域コミュニティの形成と地域活性化のうえで成果が期待されるところである。今後も地域との連携を密に有効な活用に努めるとともに、事業の検証と適正な執行を図ること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●			このまま事業を継続		●		事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●			このまま事業を継続																														
		●		事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。